

提出 順番	No. 2	令和 5 年 2 月 22 日 午前・ <input checked="" type="radio"/> 後 3 時 15 分受領
----------	----------	--

令和 5 年 2 月 22 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 子育て支援環境整備について	<p>少子化は、2020年からのコロナ禍の影響もあり、想定を上回るスピードで進み、虐待や不登校、自殺の増加など子どもをめぐる課題は深刻化しており、さらには、子どもを持つこと自体に、将来の不安を持つ若者が増えていることです。</p> <p>2021年の全国での出生数は、約81万人と人口動態調査開始以来最少を記録し、想定を6年上回るペースで少子化が進んでおり、このほか固定的な性別役割分担意識を背景に家事、育児の負担についても依然として女性に偏っている現状がうかがえます。</p> <p>これらの課題を克服し、希望すれば誰もが安心して子どもを産み育て十分な教育が受けられる社会づくりが重要と考えます。</p> <p>今年4月からは「こども基本法」が施行され、「こども家庭庁」も設置されます。</p> <p>幕別町としても子どもや若者、男女共同参画の視点から子どもも、親も「希望を持って幸せを実感できるまち」「住み続けたいまち」に構造改革を進めるべきと考え、以下について伺います。</p> <p>(1) 「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に行う出産・子育て応援給付金が実施されていますが、0歳～2歳の子育て世代が孤育て(孤立した状態の育児)に陥りやすいといいますが、今後見守り訪問事業について具体的にどのように進めようとしているのか。</p>

- (2) 現場に寄り添う伴走型支援については、人材の育成や確保のための整備体制の確立は。
- (3) 幼児教育、保育の無償化は0歳～2歳児では住民税非課税世帯のみが対象であるが、所得制限の緩和や第2子以降を無償化するなどの対象拡大への考えは。
- (4) 医療費助成を高校3年生まで拡大することについて、町の考えは。

## 2 支え合い助け合う地域社会の構築について

高齢者人口は2025年には全国で3,677万人に達し、その後も高齢人口は増加傾向が続き2042年には3,935万人でピークを迎えます。

本町においても高齢化率は令和2年度で33.6%と急速に進んでいます。今後地域社会においては核家族化により高齢者の日常を支える取組が益々重要になります。

そこで高齢者をはじめ、自立が難しい人々が安全に安心して暮らせる、支え合い助け合う地域社会になること、また、人生100年時代を迎える、住み慣れた地域で安心して過ごせる環境づくりは本町におきましても重要な課題のひとつと認識しています。そこで以下について伺います。

- (1) 見守り協定（食の自立支援サービス利用者）以外の見守り体制の状況は。
- (2) 健康ポイント、ボランティアポイント等の状況と、今後の普及促進についての考えは。
- (3) 「デジタル推進委員」による高齢者支援強化についての考えは。
- (4) 認知症の人も家族も、安心な地域づくりの構築についての考えは。

(注) 質問の要旨は、具体に記載すること。